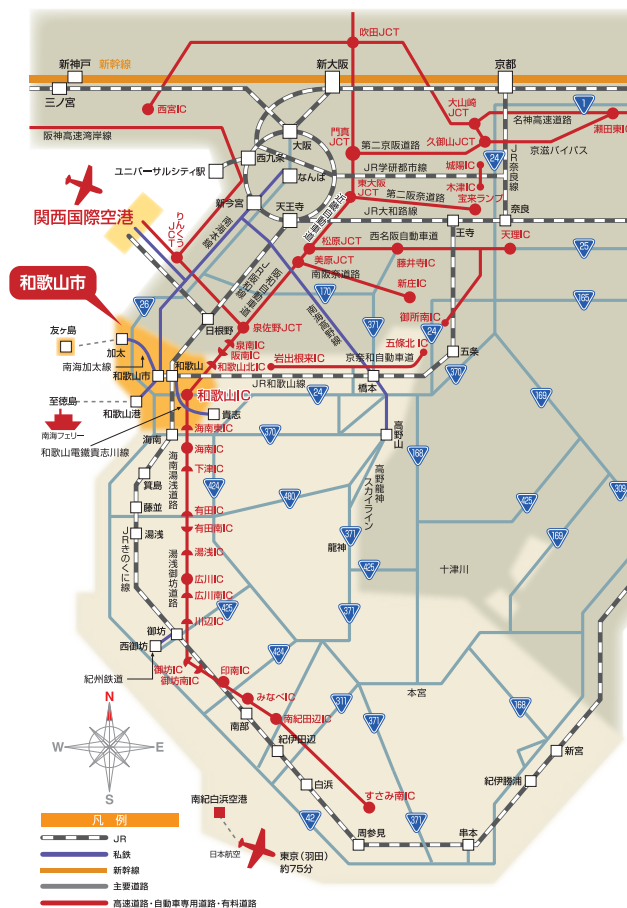




映画「ちよき」

ロケ地MAP

和歌山市へのアクセス



電車	JR西日本 お客様センター TEL.0570-00-2486 TEL.079-382-8686	京都から 約1時間30分	特急くろしお(京都和歌)	JR和歌山駅
		新大阪から 約1時間	特急くろしお(和歌山)	
		天王寺から 約1時間10分	快速(和歌山)	
		奈良から 約1時間50分	快速(和歌山)	
		白浜から 約1時間20分	特急くろしお(和歌山)	
南海電鉄	南海和歌山駅 TEL.073-422-0101	なんばから 約1時間	特急サン(南海本線)	市駅和歌山
		関西空港から 約45分	急行(南海空港線)→急行特急(南海本線)	
車	NEXCO西日本 お客様センター TEL.0120-924863 TEL.06-6876-9031	名古屋から 約3時間	東名高速道路	和歌山市
		京都から 約1時間30分	名神高速道路	
		神戸から 約1時間10分	阪神高速道路	
		大阪から 約1時間	阪神高速道路	
		奈良から 約1時間30分	阪和高速道路	
車	(財)日本道路 交通情報センター TEL.050-3369-6630	高野山から 約1時間30分	高野山道路	和歌山
高速バス	南海高速バスセンター TEL.06-6643-1007	東京駅 新宿駅	約30分	和歌山駅 和歌山市駅
	JRバス関東高速バス TEL.03-3844-1950	東京駅 新宿駅	約30分	和歌山駅 和歌山市駅
バス	和歌山バス TEL.073-433-9343	海浜幕張駅 西船橋駅	約30分	和歌山駅 和歌山市駅
	京成高速バスセンター TEL.047-432-1891	船橋駅 西船橋駅	約30分	和歌山駅 和歌山市駅
バス	明光バス TEL.0739-42-2112	白浜 田辺	約30分	和歌山駅 和歌山市駅
		白浜 田辺	約30分	和歌山駅 和歌山市駅
バス	和歌山バス TEL.073-445-3131	関西空港交通 TEL.072-461-1374	関西空港 約40分	JR和歌山駅 約25分
				和歌山駅
フェリー	南海フェリー 和歌山営業所 TEL.073-422-2156	徳島港	フェリー約2時間	和歌山港

～イントロダクション～

全編オール和歌山市内撮影！
和歌山の魅力的な街と人が生んだ
オリジナルストーリー。

物語の舞台、主人公・直人の美容室はわかやまじゃんじゃん横丁に。
さらに和歌浦天満宮、マリーナシティ、和歌山盲学校など
全て和歌山市内で撮影された「ちよき」。
これは監督・脚本の金井純一が実際に和歌山市内を訪れ、
そこで触れ合った町や人に触発され、書き下ろしたオリジナルストーリーだからです。
映画本編に流れるあたたかさや優しさは和歌山弁と和歌山の魅力から成るものです。
映画は今、産声をあげたばかりです。公開まで、親元を離れる子供を見守るように、
映画「ちよき」の応援を宜しくお願い致します！

映画「ちよき」公式サイト <http://choki-movie.com/>
©2016 ちよきフィルムパートナーズ



～あらすじ～

美容師のおじさんと、
そこに髪を切りに訪れた盲目の少女の
ヒューマンラブストーリー

自然豊かな和歌山市の商店街にある美容室“HATANO”。
レコードとコーヒーが好きな波多野直人（吉沢悠）は美容師を、
妻・京子（広澤草）は美容室の二階で書道教室をしていた。
7歳の瀬戸サキは、その書道教室に通っていた問題児だが、
京子はサキを自分の娘のように可愛がっていた。
直人と京子の間に子供はいなかった。
時は経ち十年後、一本の電話がかかってくる。
それは十年前のある事件以来会っていなかったサキ（増田璃子）だった。
彼女は視力を完全に失っていた。
直人も最愛の妻・京子を五年前に亡くしていた。
空白の十年間に何があったのか。
サキの想いを知り、直人はある大きな決意をする……。

キャストメッセージ

増田璃子（瀬戸サキ役）

撮影から8ヶ月経って和歌山の景色を見て、本当に素敵な場所に居たことを改めて実感しました。
また、景色と共に和歌山で出会った人を思い返して、たくさんの人に支えられてこの作品が出来たことを嬉しく思いました。



吉沢悠（波多野直人役）

和歌山市のロケ地を使わせていただいて、その場所はそこの方々からもらっているエネルギーが作品に反映されていると思います。和歌山の方はもちろん、多くの方に見ていただきたいです。



監督・脚本 金井純一

和歌山市のロケーションとしての魅力はもちろんのこと、撮影に協力して下さった和歌山市民の方たちの魅力も、この映画の中にしっかりと刻まれています。和歌山市でしか撮れなかった、あたたかい、愛のある映画です。





6 北島橋

7 河西橋

8 土入川大橋

9 紀の川河口大橋

紀ノ川にかかる橋

北島橋をはじめ、和歌山市民の生活には欠かせない橋。紀ノ川を渡る距離と二人の心の距離とがまるで暗示されているかのように作品の各場面に登場します。



1 磯の浦海水浴場
作品の中でも印象的なシーンが撮影されました。関西屈指のサーフポイントで、夕方には綺麗な夕日も眺められます。

2 じゃんじゃん横丁
主人公の美容室がある、メインのロケ地です。セットではなく、実際の街並みそのまま作品に使用されています。レトロな街並みで、飲食店もあり、古くから和歌山市民に愛されています。

3 和歌山県立和歌山盲学校
主人公「サキ」の通う学校です。外観や校名なども、そのまま作品に使用されています。

4 和歌浦天満宮
重要なシーンでは必ず出てくる、作品にとって欠かせないロケ地です。学問の神様・菅原道真が祀られており、日本の三管廟といわれる和歌浦天満宮。階段を登り切った後に見える和歌浦の景色に心打たれます。

5 和歌山マリーナシティ
主人公2人のデートシーンの撮影が行われた、中世ヨーロッパの風情が漂うテーマパーク。天然温泉や、グルメスポット「黒潮市場」などもあり、一日中遊び尽くせます。

ロケ地MAP

映画「ちよき」

